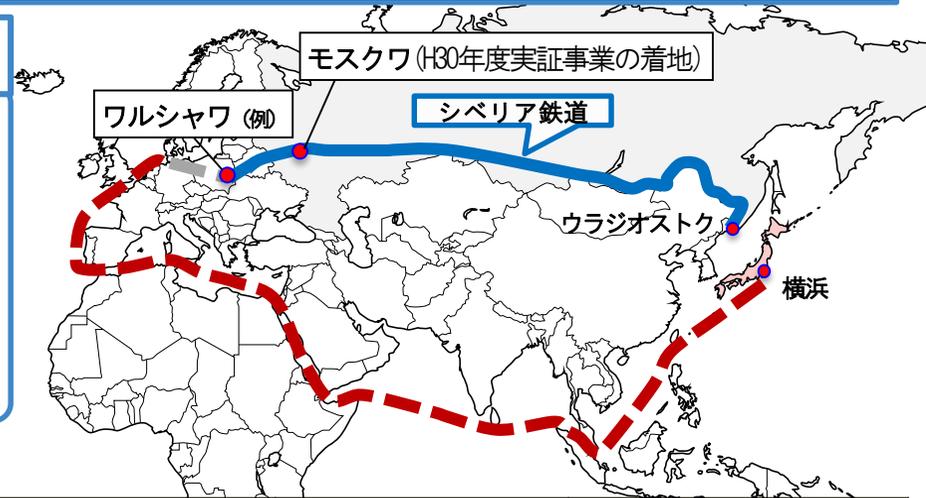


R1年度シベリア鉄道による貨物輸送パイロット事業について

R1年度は、日本－欧州間に範囲を拡大してパイロット輸送を実施（3件予定）することで、シベリア鉄道を海上、航空に続く新たな輸送ルートとして確立するための課題を検証するとともに、そのPRにより利用促進を図る。

今年度の実証輸送について確認に重点をおく課題

- モスクワ以西との接続に関し、手続き内容、輸送経路、貨車編成（貨物積替え）に要する時間等
- 過去に未検証である輸送形態や貨種（タンクコンテナ、危険品輸送等）に関し、輸送に係る手続き内容等
- 輸入貨物の輸送に係る手続き内容



実証事業一覧

事業者	輸送品目	輸送時期	出港地	到着地	実証事業の特徴
1 (株)日新	アクリル系ポリマー (水溶性ポリマー)	9～10月	神戸	プラハ (チェコ)	タンクコンテナによる 化学品輸送
2 (株)東洋トランス	電気電子部品等 (リチウムイオンバッテリー含む)	9～10月	富山	ビエルスコ・ビャワ (ポーランド)	危険品輸送
3 日本通運(株)	輸入混載貨物 (機械部品、自動車部品等)	秋季	ハンブルグ(ドイツ)or ワルシャワ(ポーランド)	日本	輸入混載貨物輸送

 : 出発式対象案件